

GTEC for STUDENTS

英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の
活用促進に関する連絡協議会

GTEC for STUDENTS 試験概要説明

平成27年3月17日

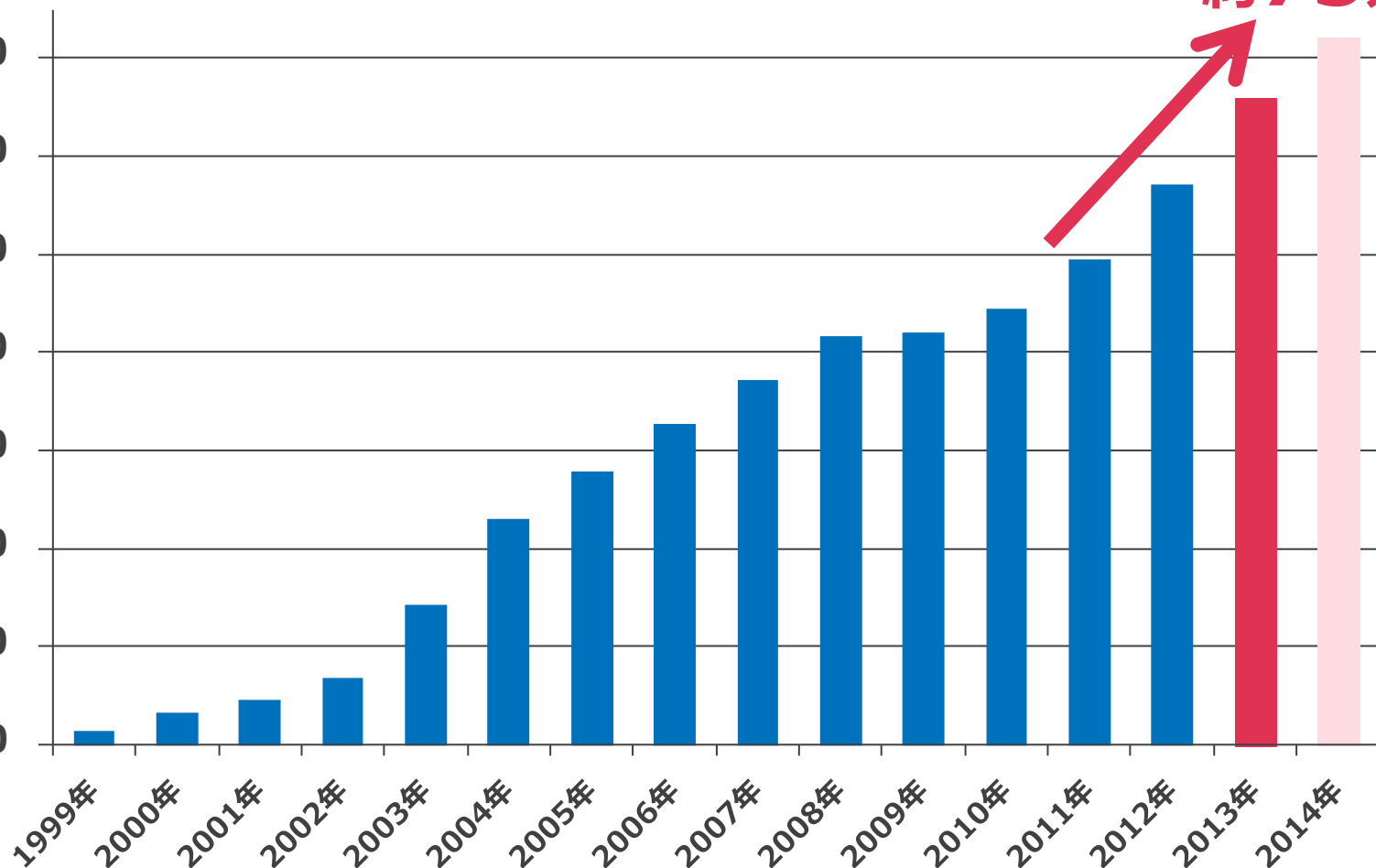
株式会社ベネッセコーポレーション
学校本部
高校事業部

1 GTEC for STUDENTS の実績 ~受験人数~

スコア型検定 高校生受験者数 No.1
 コミュニカティブな英語教育の広がりとともに増えてきている。

単位:万人

約73万人



- 1998年
日本の学生のスタンダードな新英語力指標を目指してリリース
Proficiency Guideline完成
- 2000年
can-do statements完成
※CEFRリリースの1年前に完成
- 2002年
GTECの開発 ※CBT形式
(社会人版GTECリリース)
- 2005年
Coreタイプリリース
中高一貫校の中学校での受験が可能に
- 2006年
全国高校生英語ディベート大会スタート
(特別協賛として支援)
- 2009年
帳票改訂 指導での成果検証での活用を重視した設計に
- 2011年
改訂版can-do statements公表

2 GTEC for STUDENTS の実績 ~全国での普及のポイント~

全国47都道府県において、学校を会場として実施しており、
文系/理系問わず、原則的に学年全員が受験している英語アセスメント。

全国 約 **1,250** 校/年が実施

受験料は **3,080** 円

※Speakingを含む4技能では、**5,040**円
(共に、消費税込)

検定日は、年 **2** 回の実施

※例年7月・12月に検定日1日を設置

※文部科学省・英語教育強化地域拠点事業における拠点校、及び外部専門機関と連携した英語指導力向上事業における研修協力校においては、1,640円(税込)に減額補助。
(Speakingテストは除く)



3 GTEC for STUDENTS の特徴

GTEC for STUDENTS の5つの特徴

- ① 「聞く・話す・読む・書く」の4技能をスコア型の絶対評価で測定
- ② 中高生のジェネラルな英語力を測るのに適した問題内容
- ③ タブレットによる「スピーキングテスト」を実施 ※特許出願中
- ④ 【教員向け】学校での指導改善に活用できる充実したフィードバック
- ⑤ 【生徒向け】学習の動機づけにつながるライティング答案の採点・添削

学習状況に応じて選択できるタイプ設定

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
難					Advanced	
↑				Basic		
↓						
易	Core					

※どのタイプを受験しても「IRT（項目応答理論）」と呼ばれる統計処理を元にスコア算出をしているため、出てくるスコアは同様。ただし各タイプの上限スコア以上は測定対象外。

4 英語4技能におけるスコア型の絶対評価テスト

高校・中学校生活におけるジェネラルな英語コミュニケーション能力を測定。
Reading/Listeningに加え**Writing/Speaking**まで**英語運用力をスコア化**。

		Advanced	Basic	Core
スコア上限		810*	660*	440*
各技能の 満点値	Listening	320	250	170
	Speaking*	170	170	-
	Reading	320	250	170
	Writing	170	160	100
各技能の 問題数 (時間)	Listening	40問/25分	40問/25分	32問/18分
	Speaking	12問/25分	12問/25分	-
	Reading	43問/45分	36問/45分	28問/32分
	Writing	1問/20分	1問/20分	1問/20分

* スコア上限：各タイプのトータルスコアはListening, Reading, Writingの3技能の合計スコア

* Speaking：オプション実施

5 実施方法・出題方法 ～学校における全員実施に適した形式～

試験終了後の約1ヶ月後に、教員用データとして「教師用帳票）」，
生徒用データとして「スコアレポート」を返却します。

測定技能	問題数 ※タイプで異なる	試験時間 ※タイプで異なる	解答方法
Listening	32～40問	18～25分	紙・マークシート方式
Speaking	12問	25分	タブレット端末・ 音声録音による解答※採点は複数名
Reading	28～43問	32～45分	紙・マークシート方式
Writing	1問	20分	紙・自由記述による解答 ※採点は複数名

6 出題難易度（Global Scale） ~CEFRレベルとの参照~

GTEC for STUDENTSは、CEFR「B2~A1」レベル
までを測定することが可能。

CEFR
Levels

C2

C1

B2

B1

A2

A1

**GTEC for
STUDENTS**

GTEC CBT

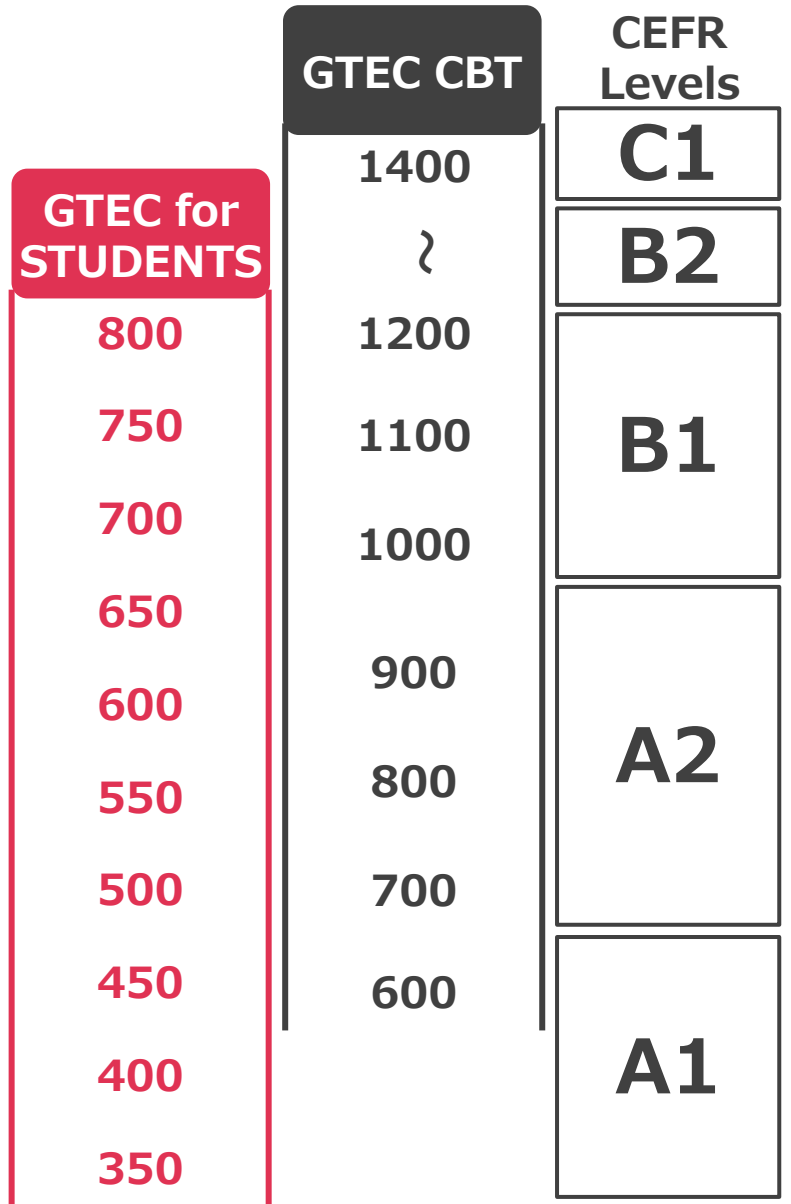
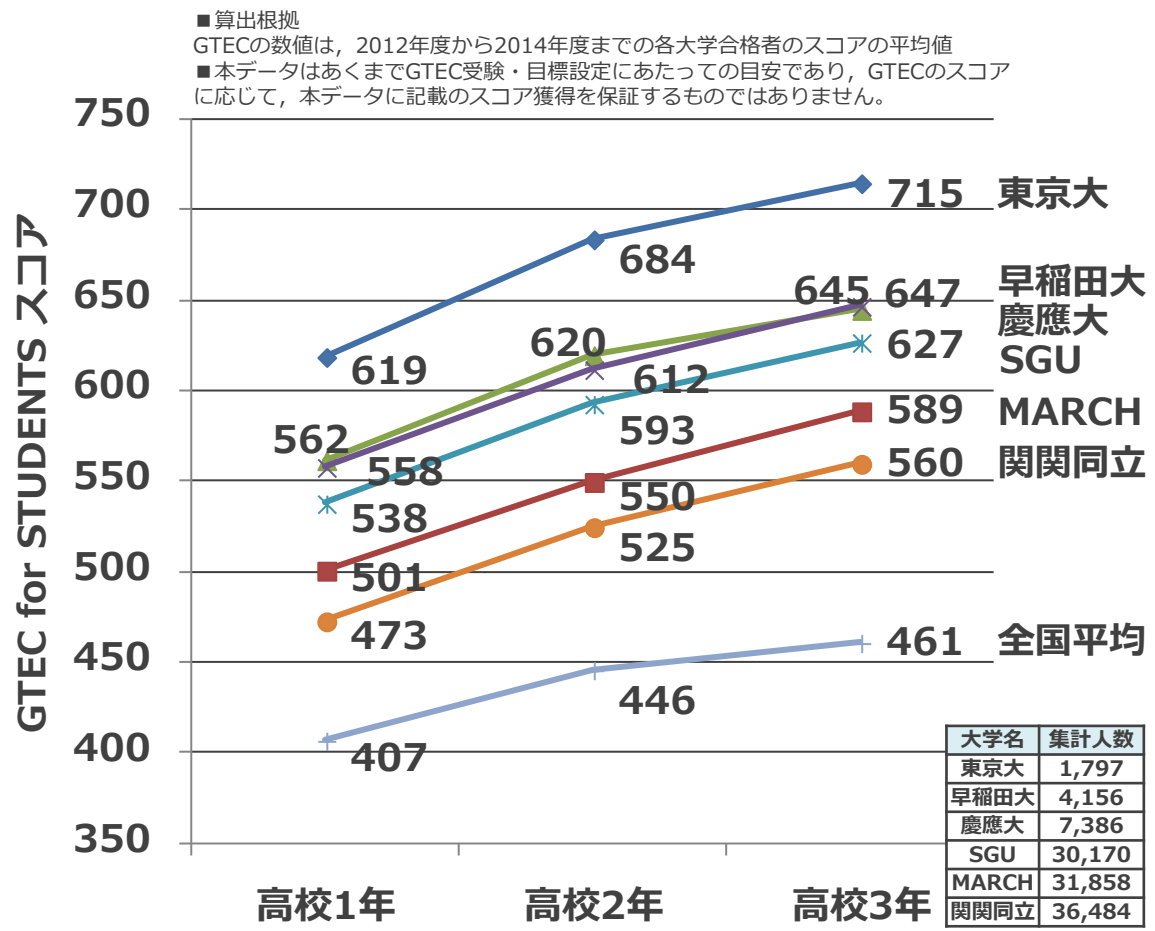
必要語彙数	原則的に指導要領の範囲内の語彙
語彙サイズ	Advanced : 高校英語必修科目の教科書レベルの語彙 Basic : 中学3か年の教科書レベルの語彙 Core : 中学1~2年の教科書レベルの語彙 ※上記に加えて、日常生活で頻出の重要語彙も含む
目標言語使用領域 (Target Language Use)	高等学校や中学校の授業で学んだ英語を「実際に使う」場面を想定したジェネラルな言語

7 出題難易度（弁別性） ~大学入試結果との関連性~



GTEC for STUDENTSは、CEFR「B2~A1」レベルまでを測定することが可能。

- ※高校3年生の全国平均はA1レベルの上位
- ※難関大合格者の平均はA2レベルの上位



8 タブレット端末による Speakingテスト

1人1台のタブレット端末の実施で、短時間で学年全員が受験できる。
学校におけるパフォーマンステストに、客観性を持たせることも可能。



校内での
集団実施を
可能にする
テスト形態



生徒の
スピーキング力を
把握できる
教師用帳票

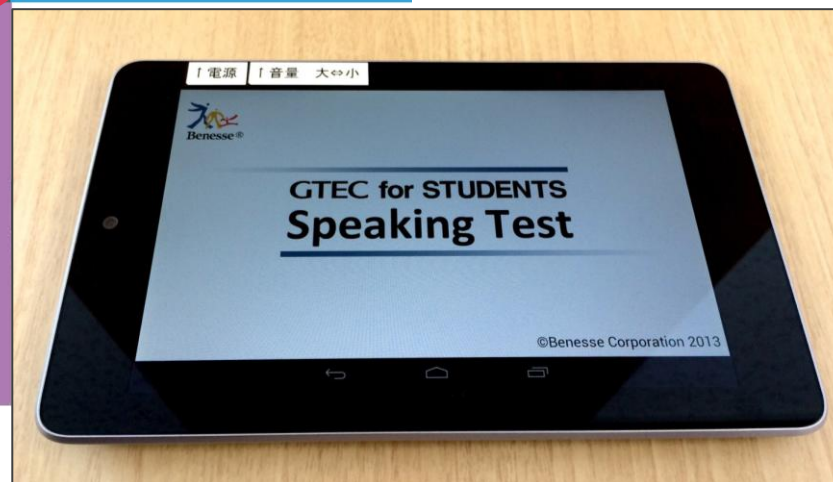
学校内の教室において
クラス単位で「一斉実施」が可能
※発信技能の測定ニーズに対応

※特許出願中

日常生活や
学校での
英語使用場面を
想定した出題



専門トレーニングを
受けた英語話者
による海外採点



学校における「指導改善」の効果を検証し、
指導と学習到達目標・評価の適切な一体化をサポートする。

学年全体の英語力を細かく分析し、
指導効果を検証

目標

**CAN-DO形式の学習
到達目標の策定**
「英語で何ができるか」
という記述で学習到達目
標を設定する。

検証

指導

評価

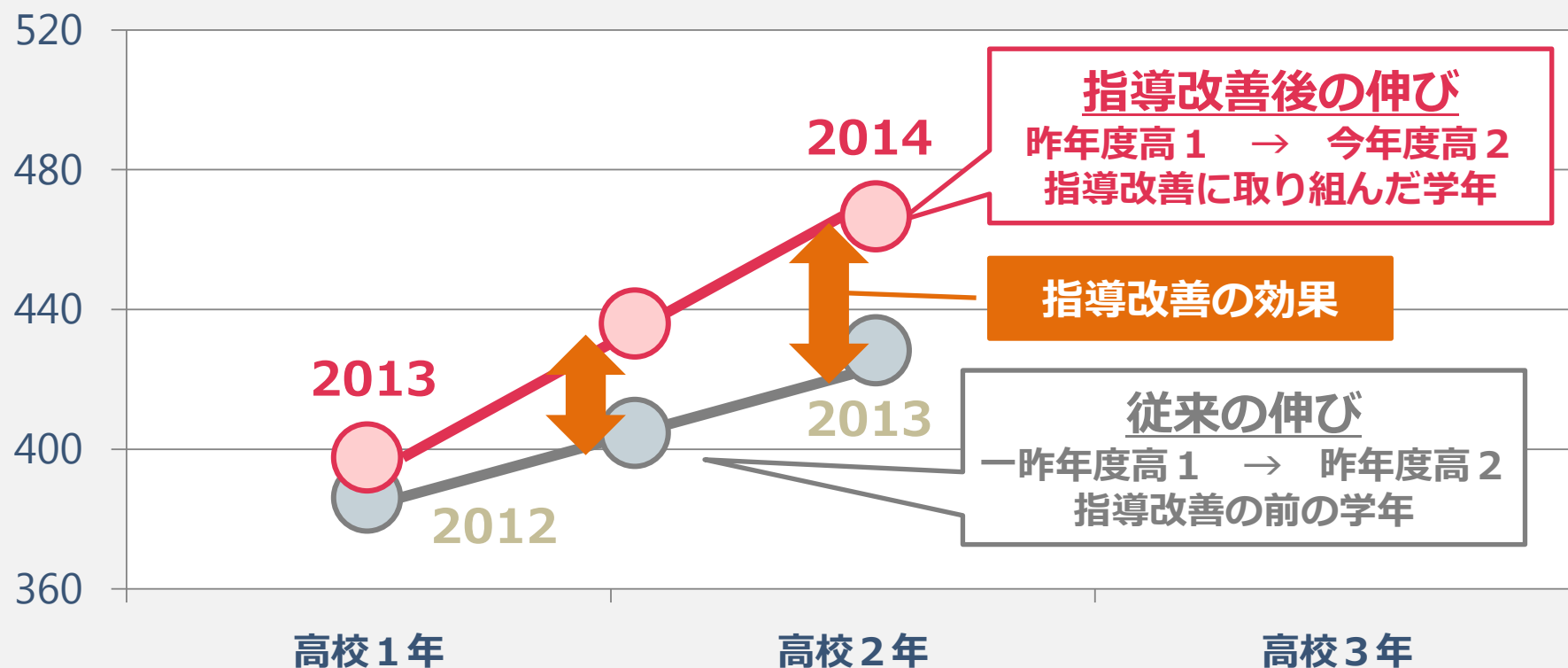
評価の改善
ペーパーテストのみの評
価ではなく、パフォーマ
ンス評価などを効果的に
取り入れる。

GTEC for STUDENTSの教師用帳票（抜粋）



同一生徒の英語力推移を複数学年で経年比較することが可能。
英語力の伸びからどの技能の指導をどのようにするか検討のベースとなる。

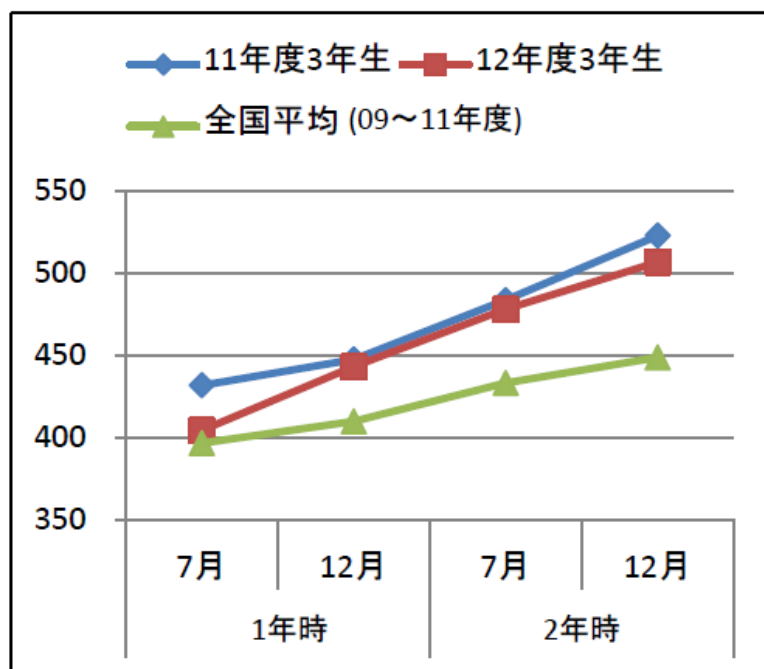
GTEC for STUDENTSスコアの推移
(例) 2013年度の高1から指導改善を試みた場合の英語力の伸びの違い



地域が一体となった中高連携の取り組み ～七尾市における英語力把握と指導改善～

高校3年間だけでなく、中高6年間で英語力を伸ばす取り組み

七尾高校におけるGTECスコア推移



左図の通り、七尾高校においては、全国平均と比較しても例年大きなGTECスコアの伸びを記録しており、英語力を安定的に伸ばしている。

しかし、国語や数学などの他教科に比べると、入学時の英語の学力は相対的に低いと考えられている。このことから、中高が密に連携することにより、中高6年間トータルで英語力を伸ばしていこうと、七尾高校と七尾市内の小中学校の管理職教員と、七尾市教育委員会が中心となり、今回の取り組みがスタートした。

その内容は、まず同じ物差しで英語力の現状を把握し、同時に小中学生の学習意識・学習習慣をチェックすることから、指導のあり方を建設的に見直していこうというものである。

備考：詳細内容はGTEC通信vol.80を参照

12 【教員：指導改善】技能ごとのサブスキルによる詳細分析

技能別の力を，スコアのみならず「パート別・観点別」で測定
指導改善を行うポイントを明確に把握することが可能。

Listening



パートA:基本語彙を
聴きわけける力
パートB:会話応答の速さ
パートC:タスク解決する力
パートD:要点理解の力

Speaking



観点①:効果的に伝える力
観点②:語彙力
観点③:文法力
観点④:発音
観点⑤:流暢さ

Reading



パートA:語彙・語法の力
パートB:読みの速さ
パートC:読みの確かさ

Writing



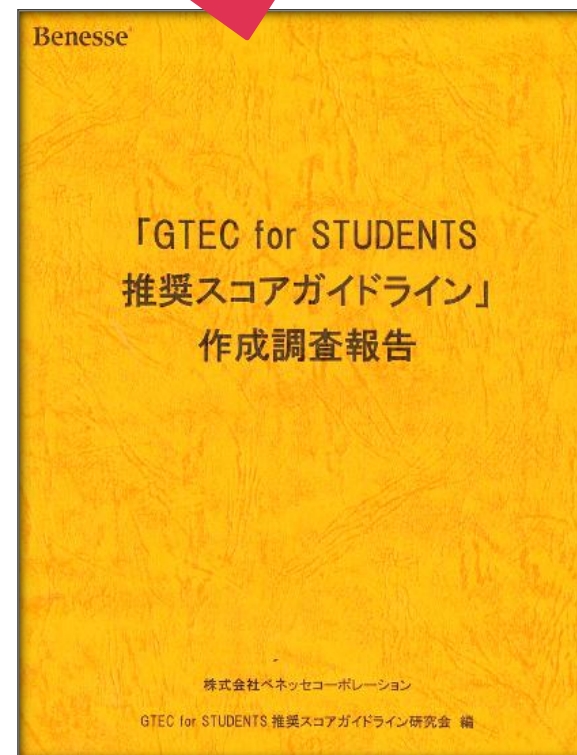
観点①:意見
観点②:理由
観点③:語彙力
観点④:文法力
観点⑤:構成・展開力

13 【教員：指導改善】 CAN-DO形式の学習目標設定のサポート

「評価に妥当性を持たせるGTECの活用」
各学校での目標設定に，スコアと独自can-do statementsを活用。



実証研究をベースとしたGTEC for STUDENTSのcan-do statements



全国の先進的事例の普及
効果的に外部検定試験を活用するなどして，指導に活きるCAN-DO形式の目標設定を行っている学校の事例を収集し，全国への普及を行っている。

GTEC for STUDENTS can-do statements研究
※全国英語教育学会（2011年）発表

14 CAN-DO Statements ～グレード 7 から 6～

Grade	LISTENING		SPEAKING		READING		WRITING	
	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO
Grade 7	270 ～	○なじみのあまりない話題に関する、込み入った内容の話や会話を聞いて、要点を把握しながら内容を理解できる。 ■海外で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。	170	○国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、英語で議論することができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。	270 ～	■英語母語話者向けのテキスト（小説やインターネットのホームページなど）を読んで、辞書なしでも内容をほぼ理解できる。	170	○意見の分かれる話題について、複数の事実関係や意見の共通点、相違点を整理し、論理的に自分の考えを書くことができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題についての発表や討論を聞いて、その内容をまとめ、自分の意見を書くことができる。
Grade 6	220 ～	○リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。 ■日本で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。	150 ～	○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、本や映画などなじみのある話題であれば、新たな質問を思いつくなどして話題を発展させることができる。 ■日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。	230 ～	○教科書の本文の中の重要な点（とそうでない点）を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。 ■語句に注釈などのない日本の英字新聞（Japan TimesやDaily Yomiuriなど）で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。	160 ～	○効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、読み手を意識して自分の考え・意見・提案などを書くことができる。

○は教室内can-do ■は教室外can-do

15 CAN-DO Statements ～グレード 5 から 4～

Grade	LISTENING		SPEAKING		READING		WRITING	
	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO
Grade 5	200 ～	○教科書のリスニング活動に出てくる、10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。	130 ～	○なじみのある話題について、英語で議論することができる。 ○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分が知っている映画や本のあらすじ、出来事などについて、英語でやりとりができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語ですることができる。 ■日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語ですることができる。	190 ～	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ■語句に日本語の注釈がついた英語学習者向けの英字新聞（週刊STやAsahi Weeklyなど）で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。	130 ～	○自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 ■自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。
Grade 4	180 ～	○教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	110 ～	○自分のスピーチに対する質問に英語で何とか答えることができる。 ■高校生がアルバイトをすることに対して賛成か反対かを述べるなど、身近な社会的な話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。	160 ～	○教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。	100 ～	○自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。 ■英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。

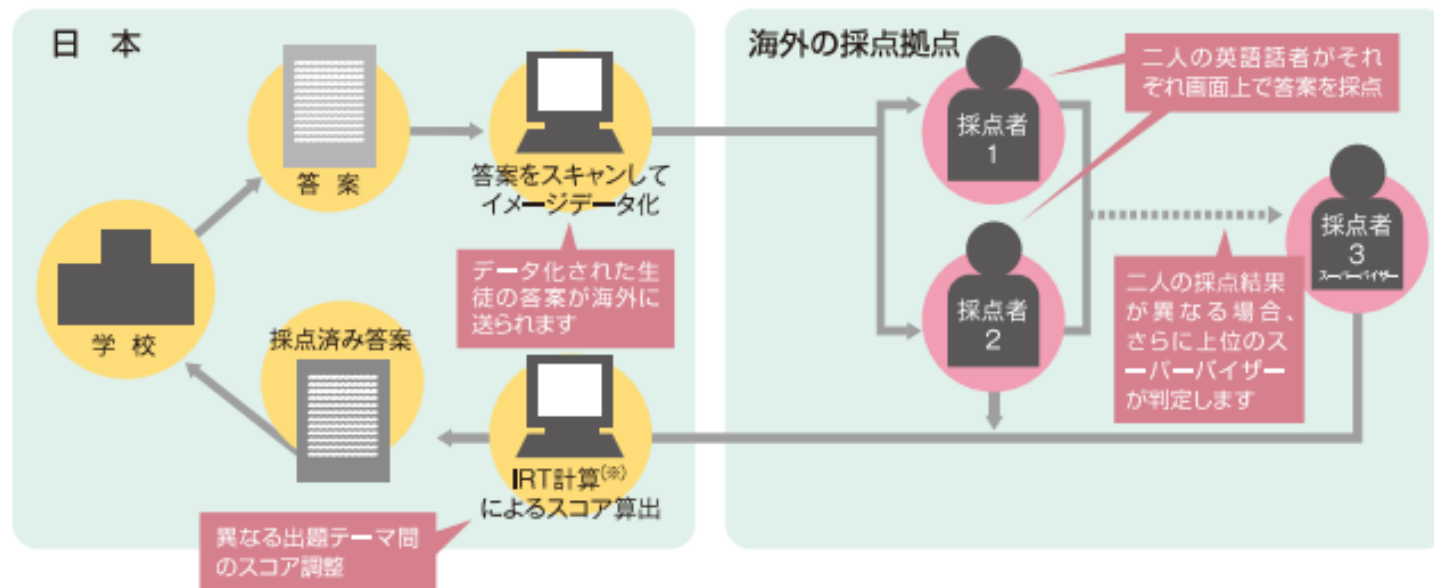
○は教室内can-do ■は教室外can-do

16 CAN-DO Statements ~グレード 3 から 1~

Grade	LISTENING		SPEAKING		READING		WRITING	
	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO	スコア	CAN-DO
Grade 3	160 ~	○教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	90 ~	○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分のことなど、なじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 ■学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語で言うことができる。	140 ~	○教科書の本文を読んで、内容の大筋（出来事のつながり）を理解できる。 ■1文が短く、単純な構文で書かれた教科書の本文を、日本語に訳さなくても、内容を理解できる。 ■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる。	80 ~	○自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。 ■英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引ながらであれば、書くことができる。
Grade 2	140 ~	■英語で電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたり、ゆっくり簡単な英語で話してもらえば近くの場所までの道順を、ほぼ理解できる。	70 ~	■自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。	120 ~	○教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。 ■個人的な短い手紙やEメールの英語のメッセージを、辞書を使いながら読めば何とか理解できる。	40 ~	○自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。 ■2～3文程度の短い簡単な内容の英語の日記を書くことができる。 ■絵はがきやカードに簡単な英語のメッセージを書くことができる。
Grade 1	上記未満	○日本人の先生による、英語での簡単な指示（Stand up., Open your textbook.など）を理解できる。 ■Where do you live?など、聞き慣れた簡単な質問は、ほぼ理解できる。 ■英語で曜日や月、時間を聞いて、理解できる。	上記未満	○英語で朝・昼・夕方の簡単なあいさつや別れの言葉をかわすことができる。 ■自分のことについて名前や年齢、学年、誕生日、出身地などを英語で言うことができる。	上記未満	■ExitやStop!など、看板や表示に書かれた数語程度の簡単な英語を読んで理解できる。 ■写真付きのファーストフード店のメニューならば理解できる。	上記未満	○自分の意見や感想を表す英語の単語をいくつか書くことができる。 ■自分の名前や住んでいる場所などの内容を含む、簡単な自己紹介文を書くことができる。

○は教室内can-do ■は教室外can-do

17 【生徒：動機づけ】ライティングの採点と添削



I think that Japanese students don't have to ~~keep a~~ ^{have their} own computer, because they ^{will} use ^{their} computer to play ~~a~~ games. Japanese students should study more and play with ~~them~~ ^{their} friends ~~in~~ outside. When they want to use a computer, they can use it at school.

In fact, most ~~of~~ Japanese schools have many computer~~s~~. If Japanese students have ^{their} own

外国人採点者によって採点と添削が行われ、受験者はフィードバックを受けることができる

A Nice Try!

You have written well about some good ideas in your answer. There are some reasons and explanations which support your opinion.

You use some good vocabulary to show your ideas. Check the red comments on your essay and try to write grammatically good sentences. You must group the sentences well, then readers can easily understand your writing.

Try using paragraphs to group related sentences. Write more on why you think playing outside is better than playing computer games.

Read some English magazines to build up your vocabulary.

Best of luck!

受験者一人ひとりに励ましのメッセージと今後に向けたアドバイスがフィードバックされる

18 Listening 問題例①

即応性、情報選択、要点理解など多角的に「聞く力」を測定。

【Part A 写真・イラスト説明問題】

このパートでは、イラストの内容について、選択肢【A】～【C】が読めます。その中から最も適当なものを1つ選びなさい。



スクリプト

- 【A】The man is looking up at the tree and telling the boy to climb down.
- 【B】The man is standing under the tree to help the boy pick the fruit.
- 【C】The man is carrying the boy on his shoulders to get some flowers.

写真やイラストなど与えられた視覚的情報をもとに、ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの英文を正しく聞き分ける力を測定する問題。

【Part B 会話応答問題】

このパートでは、質問の英文が読まれ、続いてすぐに選択肢【A】～【C】が読めます。質問に対する答えとして、最も適当なものを1つ選びなさい。

スクリプト

- How many bags do you need? 【A】Just only this one, please.
【B】You need to bring them back soon.
【C】We sold so many bags last month.

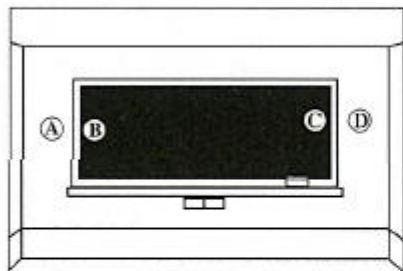
事前予測ができる情報がない中で、会話的な不意の問いかけに対する適当な応答英文を素早く判断し、処理できる力を測定する問題。

19 Listening 問題例②

【Part C 課題解決問題】

このパートでは、ある場面とそれに関する問題が2つあります。まず状況を説明する日本語が読めます。続いて英語の会話文や話が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、質問に対する答えとして最も適当なものを選択肢【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

カナダからの交換留学生が自分のホームタウンについてのスピーチの準備をしています。あなたは、その準備を手伝っているところです。彼の説明を聞きなさい。

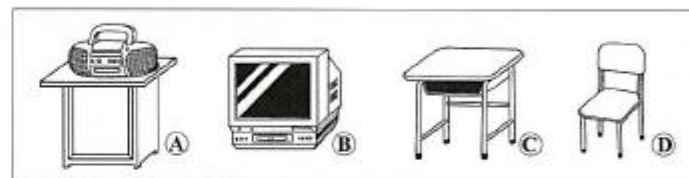


スクリプト

Can you put these family and school photos on the wall to the right of the blackboard while I put the map on the wall?

1. あなたは学校の写真をどこへ張るか。

- 【A】 ㊶
- 【B】 ㊷
- 【C】 ㊸
- 【D】 ㊹



スクリプト

Please put this CD I brought from Canada into the teacher's desk. Let's move the TV so that we can watch a video. Don't move any desks or chairs.

2. あなたは何を動かすか。

- 【A】 ㊶
- 【B】 ㊷
- 【C】 ㊸
- 【D】 ㊹

日本語で事前に与えられる状況設定及び視覚的情報と音声情報から、その場面で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題。

20 Listening 問題例③

【Part D 要点理解問題】

このパートでは、英語の会話文や話を聞きなさい。それぞれの内容に関する質問と選択肢【A】～【D】を読んで、答えとして最も適当なものを1つ選びなさい。

スクリプト

F: Do you have these black shoes in size 7? These shoes I tried on are a bit small.

M: I'm sorry, but we have black ones only in 5 or 6.

F: I see. If you have the brown ones in the larger size, I'd like to try on those.

M: Sure. I'll be back soon.

F: female「女性」、M: male「男性」の略。

Which size of the shoes will the woman try on?

- 【A】 Size 4.
- 【B】 Size 5.
- 【C】 Size 6.
- 【D】 Size 7.

一定以上の長さの音声英文の中から、事前に与えられた英文質問に答えるために必要な情報を選択して引き出し、求められている解答を導くための適切な判断を行う力を測定する問題。

21 Speaking 問題例① ~タブレット端末での出題~

リアルな場面設定で、音読から意見展開まで幅広い「話す力」を測定。

Part A 問題数 6問 Reading Aloud

音読

準備時間 各5秒
解答時間 各10秒

対話の応答文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解したうえで、正確な発音で音読ができるかどうかを診断します。

Part A 出題画面イメージ

A: What are you going to buy at the mall?

B: I really need to get some new shirts and pants. All my clothes are so old!

解答時間 00:08

採点観点…発音 (0, 1, 2, 3, 4の5段階)

Part B 問題数 4問 Listening and Responding

質問を聞いて応答する

準備時間 各10秒
解答時間 各15秒

図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取ったうえで、適切に応答する力があるかどうかを診断します。

Part B 出題画面イメージ

	SAT	SUN
9:00		
12:00		12:00-13:00 dentist
15:00	grandparent's house	
18:00	gym	18:00- concert

No. 1

What are you doing this Saturday?

Your: _____

準備時間 00:09

採点観点…Goal Achievement (質問に対して明確に応答できているかの観点で、ClearまたはUnclearの2段階評価)

※タブレット機器は1受注につき50台を上限に貸し出し

22 Speaking 問題例② ~タブレット端末での出題~

Part C 問題数 1問 Telling a Story

ストーリーを英語で話す

準備時間 20秒

解答時間 60秒

日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を診断します。

Part C 出題画面イメージ



注意: イラストは適当なサイズです。図の操作で縮小したり拡大したりすることはできません。

解答時間 00:58

REC

採点観点…Goal Achievement (1コマめ～4コマめのそれぞれの内容を明確に説明できているかの観点で、ClearまたはUnclearの2段階評価)。
加えて、語い、文法、発音、流ちょうさの4観点 (各0, 1, 2, 3, 4の5段階)

Part D 問題数 1問 Expressing Your Opinion

自分の意見を述べる

準備時間 60秒

解答時間 60秒

身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由が言えているかを診断します。

Part D 出題画面イメージ

Some people think schools shouldn't allow students to use their cell phones while at school. What do you think about this? Give at least one reason to support your opinion.

準備時間 00:42

採点観点…Goal Achievement (与えられたテーマに対して、「意見」「理由」を明確に説明できているかの観点で、ClearまたはUnclearの2段階評価)。
加えて、語い、文法、発音、流ちょうさの4観点 (各0, 1, 2, 3, 4の5段階)

23 Reading 問題例①

特に速読的な情報検索，概要把握する「読む力」を中心に測定。

【Part A 語彙・語法問題】

それぞれの英文の空所_____に入れるのに最も適当なものを、選択肢【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

The computer system at school is working _____. We have to spend extra money to change the whole system.

- 【A】 fairly
- 【B】 steadily
- 【C】 poorly
- 【D】 reasonably

単文レベルの英文の中で，文脈的なつながりを理解し，かつ，文法的に，また語彙選択上最も適切な表現を正確に判断できる力を測定する問題。

【Part B 概要把握問題】

本文と質問を読んで、答えとなる情報や考えを素早く探し、最も適当なものを選択肢【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

The sundial is an ancient invention which could have originated in Egypt as far back as 3500 BC. Sundials use the position of the sun to tell what time it is. When sunlight hits the pole on a sundial, it creates a shadow on the disk. The shadow matches a certain time of day, like reading a watch. Throughout history, they've been adapted and improved by other cultures, such as the Greeks, Romans and Chinese.

What is this passage mainly about?

- 【A】 How to make watches.
- 【B】 The Greek creator of sundials.
- 【C】 How the sundial works.
- 【D】 The discovery of an Egyptian watch.

与えられた英文の題材に対して，短時間の中で全体の概要を理解する力を測定する問題。

24 Reading 問題例②

【Part B 情報検索問題】

280 Shoe Repair – Shopping Centers & Malls	YELLOW PAGES
◆ Shoe Repair Dave's Shoe & Leather Repair 362 SuperMall.....765-9924 Joe's Shoe Repair 7919 Northtown Ctr.....992-5739 Kenny's Shoe & Leather Repair 5234 W 84th St.....731-3757 Marydale Shoe Repair 637 W 98th St.....779-5644 ◆ Shoe Shining George's Shoe Shine 3500 80th St W.....961-4451 ◆ Shoes-Retail Athlete's Feet 380 Garden St N.....963-9733 Athletic Expression 7949 Southtown Ctr.....992-6741 Bond's Shoe Store 186 Garden St N.....858-8521 Capitol Shoes Inc 8078 Morgan Cir S.....779-1090 Children's Bootery 8505 Lyndale Av S.....779-0354 Easy Walker 156 SuperMall.....765-9733 Famous Shoes 5123 98th St W.....765-0676 Foot Work 312 SuperMall.....765-9027 Kids Foot Work 170 SuperMall.....765-8928 Lady Foot Work 222 Garden St N.....765-9874 Natural Shoe Shops 288 SuperMall.....765-8030	◆ Shoes-Retail – (Cont'd) Naughton's Shoe Shop 4950 34th Av S.....613-1406 No Time to Shop 2340 Old Town Rd.....765-7700 Over-the-Top Trading Co 106 SuperMall.....765-3220 Paylittle Self Service Shoes 7815 Portland Av.....779-1200 Paylittle Shoes Northtown Ctr.....779-3215 Red Shoe Store 138 W 98th St.....992-8464 Sharp Shoes Family Shoe Store 7969 Northtown Ctr.....992-0242 ◆ Shopping Centers & Malls Countyside Center 7700 W Old Shakopee Rd.....765-9807 Lockhart's Plaza.....555-9898 (See Advertisement On Page 282) SuperMall General Information 60 E Broadway.....778-8800 Management Office 60 E Broadway.....778-8810 TDD.....778-8700 (CONTINUED ON PAGE 282)

1. Which of the following phone numbers should you call if you would like to have your shoes fixed?

- [A] 765-7700
- [B] 765-9733
- [C] 961-4451
- [D] 992-5739

2. Which of the two shoe stores can you find in the SuperMall?

- [A] Athlete's Feet and Paylittle Shoes.
- [B] Foot Work and Capitol Shoes Inc.
- [C] Easy Walker and Over-the-Top Trading Co.
- [D] Natural Shoe Shops and Sharp Shoes Family Shoe Store.

与えられた英文の題材に対して、短時間の中で必要な情報を引き出す力（情報検索力）を測定する問題。

25 Reading 問題例③

【Part C 要点理解問題】

For people with myopia, it is difficult to see things far away. Such people wear glasses to help them see. The number of children with myopia increases every year, but we don't know why it's happening.

There are some scientists who believe that myopia can be caused by sleeping with a light on during childhood. One team of scientists did research on children who had slept with the light on at night when they were younger than two years old. The scientists found that 55% of those children later developed myopia, while only 10% of children who slept in dark rooms at night developed myopia. Children's eyes grow very quickly until the age two, so it may be important for babies to sometimes be in the dark to develop healthy eyes and to avoid problems with vision as they get older.

But other scientists don't agree with this research. They say that the research results may have been affected by the fact that parents with myopia are more likely to use night lights to help them see. This is a key point because a child born to a parent with myopia is more likely to develop myopia in the future.

Until further research discovers the cause, it may be a good idea for parents to stop using night lights in their children's rooms.

What is this passage mainly about?

- 【A】 Why some children may be developing myopia.
- 【B】 How scientists are treating babies with myopia.
- 【C】 What problems are caused by myopia in adults.
- 【D】 When people should sleep to avoid myopia.

まとまった量の英文に対して、英文の主旨に関する内容や詳細部分の要点について、英文を理解し、必要な情報を読み取る力を測定する問題。

26 Writing 問題例

与えられたテーマに対し自分の考えを自由記述することで「書く力」を測定。

【Advanced タイプ】

あなたは授業中に、下記のテーマで英語のエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ

若者の活字離れが問題となっていることについて、あなたはどのように思いますか。あなたの意見とその理由を書きなさい。

〈参考〉



社会との接点を通して、個人の経験や他の事例を元に自分の意見と理由を述べる力を測定する問題。（= Theyの世界の問題）

【Core タイプ】

あなたは授業中に英語でエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ

あなたの宝物は何ですか。1つ取り上げて、なぜそう思うのか理由を書きなさい。

〈参考〉



日常生活の中から、個人が経験したことを元に自分の意見と理由を述べる力を測定する問題。（= Iの世界の問題）

27 学校・エリア・生徒への英語教育関連の支援

全国の学校・高校生・自治体への様々な支援を実施

英語力調査に 関連する事業 の受託

行政 向け

- 文部科学省
 - ・平成26年度「英語力調査事業」
(小中高等学校を通じた英語教育強化事業)
- 東京都
 - ・平成25年度「英語力判定統一試験」
(東京都英語教育戦略会議)

4技能・総合的な 英語力育成の活性化

高校教員 向け

- 英語指導力向上研究会
 - ・毎年全国47都道府県で約2,000名を動員

自治体 向け

- 英語指導改善研究会（文部科学省後援）
 - ・全国の教育委員会・指導主事対象
 - ・2012年度より計4回を実施

28 行政へのサポート事例 ～文科省・英語力調査事業～

平成26年度の 高校3年生 約80,000人（約500校）を対象とした、
4技能の英語力や学習状況を把握し分析する事業を受託。

外部試験団体と連携した英語力調査事業

平成26年度予算額 116,325千円(新規)

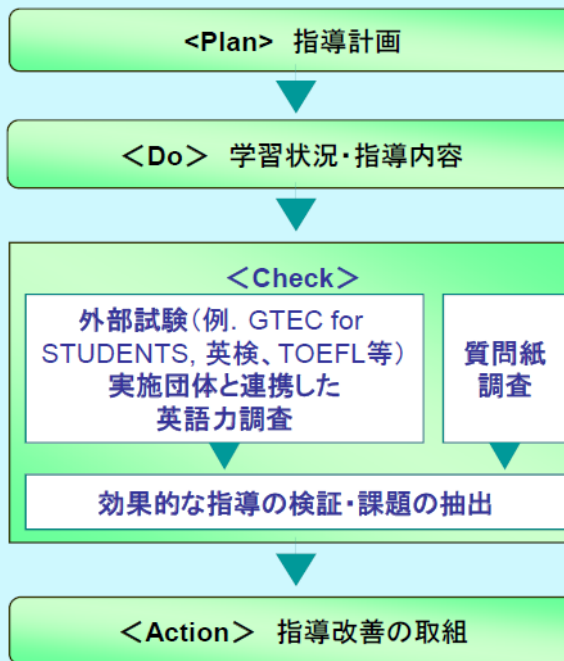
国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策(H23. 6. 30)

中学校卒業段階で求められる英語力: 初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の意向などを理解したり、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり書いたりすることができる(英検3級程度以上)

高校卒業段階で求められる英語力: 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる(英検準2級～2級程度以上)

平成27年度を目処に**外部検定試験を活用した英語力調査**を実施するための研究開発事業を実施。

- 目的: 生徒に求められる英語力や学習状況について把握・分析を行うとともに、それらの結果を指導の改善に生かすことにより、英語教育の戦略的な改善を図る
- 有識者、外部試験実施団体等からなる検討会議において、生徒の英語力を把握分析・検証するための調査を研究開発
- 4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)が対象
- 平成26年度は本取組の有効性を検証するための調査(フィージビリティ調査)を試行的に実施



出典：文部科学省

29 行政へのサポート事例 ～東京都・英語力判定統一試験～

平成25年度の 高校2年生 約4,000人（20校）を対象とした、
4技能の英語力や学習状況を把握し分析する事業を受託。

1 件名

出典：東京都教育委員会

「英語力判定統一試験」に係る業務委託

2 契約期間

契約確定日の翌日から平成26年3月31日まで

3 履行場所

東京都教育委員会（以下「委託者」という。）が指定する場所

4 委託目的

東京から英語教育を革新するための施策に基づき今年度中に行われる「東京都英語戦略会議」で、都立高校の現状を踏まえた具体的方策を検討する基礎資料として、4技能（読む、書く、聞く、話す）を測る試験を、英語教育推進協力校20校（但し、島しょ地区の学校を除く。）で実施するため。

30 学校へのサポート事例 ～GTEC通信～

全国の高等学校・中学校・自治体の英語教育に関する先進的な取り組み事例 ～2003年度から12年間の82事例～

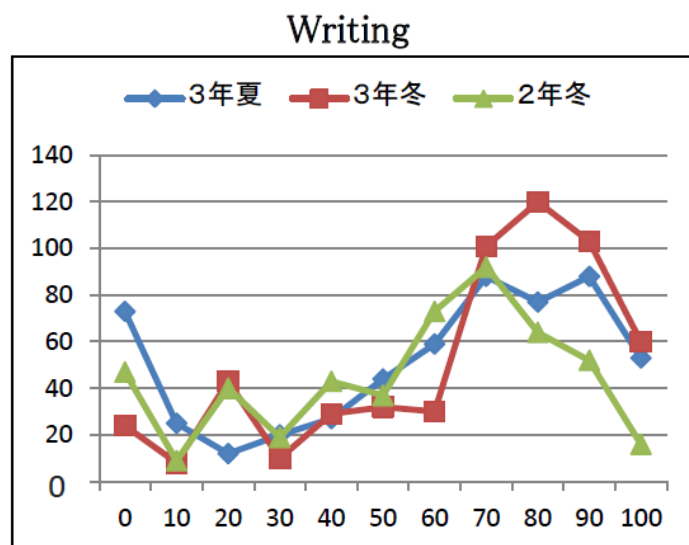
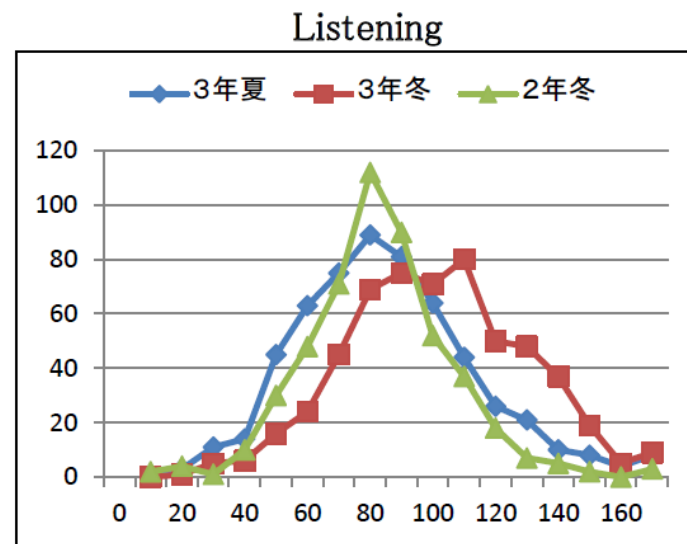
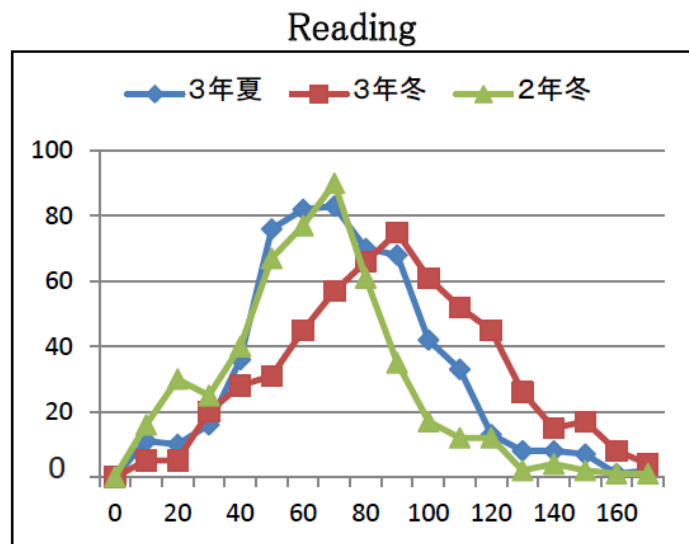
※2014年11月現在

V6182	高岡高校における英語指導の変革とスーパーグローバルハイスクールの取組 NEW	V6166	学力と意欲向上の力書よ、到達目標の共有化
V6181	工業高校の生徒の実態にあわせた「実技教科」としての英語指導 NEW	V6165	入試の先まで役立つ力を！進学校の英語授業改革
V6180	地域が一体となった小中高連携の取り組み～七尾市における英語力把握と指導改善～	V6164	「正解を当てる」授業からの脱却
V6178	指導の改善につながる評価を考える ～can-do形式の到達目標をいかに作り、活用するか～	V6163	「訳す＝内容理解」？
V6176	これからの英語教育を考える ～CAN-DO型到達目標(広島モデル版)を軸にした英語指導法～	V6162	2009年度「GTEC英語力向上校」「GTEC英語力優秀校」
V6175	「表現したい」という生徒の意欲を引き出す英語指導	V6161	理系こそ英語 PART2
V6174	評価問題から指導を考える ～授業とテストの一体化をめざして～	V6160	GTECライティング答案表彰制度 結果レポート
V6173	九州・沖縄地区「これからの英語指導を考える会」～英語力を強化する指導改善の取り組み～	V6159	進む大学改革
V6171	読み方指導と、定着のためのトレーニングで英語力を伸ばす	V6158	生徒があきらめない文法指導
V6170	活動型授業で、受験にも通用する確かな学力を	V6157	教科書に出てくる語彙の定着
V6169	学校独自can-doリストを軸にした、指導と評価の一体化	V6156	「自分から学習」を育てる評価の工夫
V6168	学校・英語科が丸丸となって取り組む福岡高校の授業改善	V6155	「自分から学習」を育てる授業
V6167	「英語による授業」への挑戦		(後略)

参照 : GTECサイト内 <http://gtec.for-students.jp/gtecmag/gtecmag.htm>

31 学校へのサポート事例 ～中学校～ <GTEC通信vol.80>

七尾市立中学校全体における GTEC for STUDENTS の結果概要



■ Reading・Listeningについては、正規分布に近い形で分布している。3年生は夏から冬にかけて分布が大きく右に移動しており、上位から下位まですべての成績層で英語力が伸びていることがわかる。

■ Writingについては、3年生夏時点でも50名以上の生徒がグレード4(100点満点)となっており、高いWriting力を持った生徒が多い。

備考：詳細内容はGTEC通信vol.80を参照

32 学校へのサポート事例 ～高等学校～ <GTEC通信vol.82>

富山県・高岡高等学校における英語指導の変革と
スーパーグローバルハイスクールの取り組み

活動に合わせ、Speakingテスト・Writingテストの機会も増やす指導

ベネッセ

CAN-DOリストの策定に合わせて、指導・評価をどのように変えてこられたのでしょうか。

松倉先生

拠点校として取り組みを進める中で、特にWritingやSpeakingの活動を授業の中では多く取り入れるようになりました。これに伴って、当然ながらWritingテストやSpeakingテストといった評価の機会も増やしていくことになりました。1年生であれば、Writingテストは年間10回、Speakingテストは年間3回と、評価の機会を増やし、指導と評価の一体化を意識してやってきました。

(中略)

ベネッセ

外部試験の活用についても教えてください。

松倉先生

英語を使う活動や、評価の機会を校内でも増やしていますので、実際にその取り組みを通して英語力がついたかどうかを客観的に測定するために外部試験としてGTEC for STUDENTSを活用しています。Writingを含めた3技能が測定できるため1～3年生で計5回受検をしていますし、Speakingについてもタブレットで一斉に行うことができるということで、今年度から1・2年生で導入することにしました。GTECで測定した結果、事業初年度の学年（現3年生）に比べても、事業2年目の学年（現2年生）の方が、1年次のスコアの伸びが大きいので、この事業で取り組んできたことが少しずつ積み上がって成果として表れていると思っています。

備考：詳細内容はGTEC通信vol.82を参照

33 エリアへのサポート事例 ～中国・四国地区～ <GTEC通信vol.76>

「これからの英語教育を考える会」 ～CAN-DO型到達目標（広島モデル版）を軸にした英語指導法～

中四国地方の高等学校の先生 約150名が参加の研究会

（資料3）広島モデル版 CAN-DO型到達目標作成のポイント

＜ポイント①＞検証し
やすいように、到達目
標には数値を入れる

＜ポイント②＞到達目
標から生徒の状態を
「力」別に具体的に表記

＜ポイント③＞上段に
授業中の活動内容・下
段に使用教材を明記

＜ポイント④＞「授業
中」「考査等」「その他
外部指標」に分けて評
価方法を設定



学年 時期		Reading (読む力)			
		到達目標	生徒の状態(ちから)	指導内容(上段)・使用教材(下段)	評価の方法
3	後 半	①教科書レベルの英文を適切な発音・イントネーションで160WPMで音読できる。	a. 語彙力: 英単語集1900語程度の収録語彙の80%について、発音・綴り・意味を即座に答えることができる。	語彙(音声指導、辞書指導) 文法(体系的整理と活用) 読解方略 要約 f. 内容に関する発問	(授業中) ・自己評価 ・ペアによる相互評価 ・グループによる評価 ・指導者による評価
		②教科書レベルの英文を120WPMで速読できる。	b. 文法力: センター試験第2問を80%以上、即座に解答することができる。	～f. 音読(シャドーイング他)、ディクテーション、速読練習	(考査等) ・定期考査 ・校内模試
3	年	③教科書レベルの英文を精読し、適切な意見を述べるができる。	c. 内容理解力: 教科書レベルの英文を読み、未知語や代名詞の意味を文脈から即座に推理し、理解することができる。	英単語集 文法演習教材 教科書 構文集 速読用演習問題 大学入試演習問題集	(その他) ・GTEC GRADE6 Reading Score: 230～ 130WPM
		到達目標から 指導を考える	d. 要約力: 400語程度の教科書レベルの英文を50～60語程度の英文または、70～100字程度の日本語で要約できる。		
			e. 内容説明力: 教科書レベルの英文を読み、短時間で英文内の抽象表現を具体的に説明することができる。		
			f. 批判的読解力: 「2次試験」レベルの英文を批判的に読むことができる。		

備考：詳細内容はGTEC通信vol.76を参照